

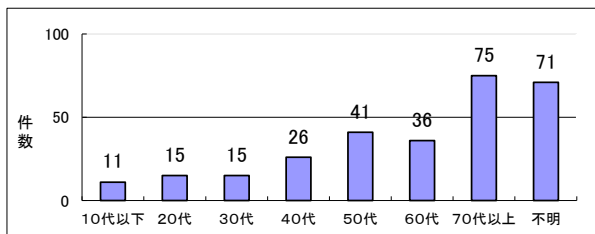
# 令和6年3月分の消費生活相談の概況

- 3月の相談受付件数は、290件で〈表1〉のとおりです。前年同月(329件)と比べ、39件の減少です。
- 総相談受付件数のうち、「不当請求」と判断される相談は13件で、前年同月(14件)と比べ、1件の減少です。
- 契約者の年代別相談受付件数は、〈図1〉のとおりです。70代以上が一番多く75件、以下50代が41件、60代が36件、40代が26件、30代が15件、20代が15件、10代以下が11件の順です。
- 相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。第1位は「商品一般」で、以下「化粧品(全体)」、「不動産貸借」、「インターネット接続回線」、「健康食品」となっています。

〈表1〉

区分	総相談件数		販売購入形態別相談件数										危害・危険(再掲)		不当請求(再掲)	
	件数	うち苦情相談	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブ・オプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	危害	危険	うち不当請求	うち架空請求	
3月	件数	290	275	31	6	103	2	19	0	6	1	122	1	0	13	8
	構成比(%)	100.0	94.8	10.7	2.1	35.5	0.7	6.6	0.0	2.0	0.3	42.1				
累計	件数	3,463	3,291	500	196	1214	25	203	0	48	15	1262	37	9	205	84
前年同月	件数	329	308	43	12	110	1	17	0	4	3	139	2	3	14	5

〈図1〉 年代別相談件数



〈表2〉 商品・サービス上位5品目

順位	商品名等	件数	主な内容
1	商品一般	36	特定できない商品(架空請求ハガキ・メールなど含む)
2	化粧品(全体)	15	メイクアップ、頭髪用、基礎化粧品など
3	不動産貸借	11	賃貸アパート・借家など
3	インターネット接続回線	11	インターネット回線等の料金・サービスの内容など
5	健康食品	9	健康食品の訪問販売など

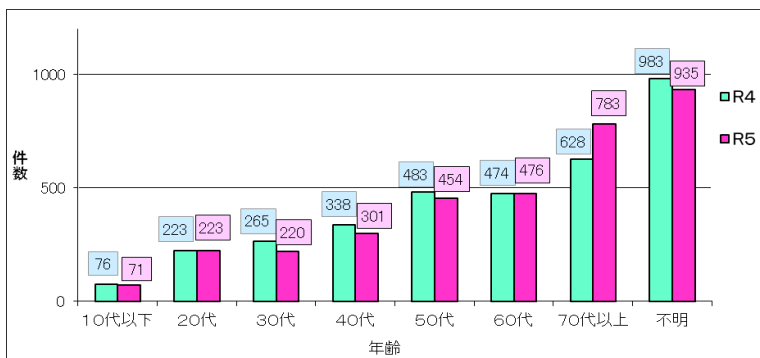
## 《令和5年度の相談の概況》

- ・令和5年度に県消費生活センターで受け付けた相談の件数は3,463件で、前年度(3,470件)に比べ7件の減少です。〈表1〉
- ・契約当事者の年代別相談件数は、〈図1〉のとおりです。昨年度に比べ、年代が上がると相談件数が増える傾向は変わりません。各年代の相談件数は70代が約25%増加となっている他は、ほぼ横ばいの傾向です。
- ・相談の多かった商品・サービスは、〈表2〉のとおりです。役務その他サービスが約31%増加となっています。

〈表1〉 年度別相談件数

	R3年度	R4年度	R5年度	前年度比 (R5/R4)
相談件数	3,418	3,470	3,463	△7 (0.2%減)

〈図1〉 年代別 相談件数



〈表2〉 商品・サービス上位5品目 相談件数

	R4年度	R5年度
商品一般(架空請求ハガキ等)	347	商品一般(架空請求ハガキ等) 416
化粧品(全体)	263	化粧品(全体) 211
不動産貸借	113	役務その他サービス 129
健康食品	110	健康食品 119
役務その他サービス	98	工事・建築 110

困ったときや何かおかしいと思うときは、お近くの消費生活センター、消費生活相談窓口または消費者ホットライン(局番なしの「188」)へご相談ください!

県ホームページ <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/shohiseikatsu/>

